

静岡県における3歳児眼科健診の追跡調査

羅 錦 宮*

要約

3歳児健診における視力検査等眼科健診が実施されるようになったが、静岡県における実施状況を調査して報告する。県下では各保健所とも健診現場への眼科医の派遣が困難であるため、アンケート及び家庭における視力検査の結果を保健所でチェックし、異常を疑う例に精密健診票を発行して眼科専門医の診察を受けさせる方式によっているが、1991年4月から12月までの3歳児健診受診者20472名中精健票発行285(1.4%)であった。県立こども病院に紹介された精密健診例は0例であり、最終診断名は表に示したごとく多岐にわたっていた。保健所における眼科健診実施上の問題点は、アンケート調査の家庭での実施率が悪い。年齢が小さいため会場では検査できない、ランドルト環は3歳0月ではやや難しい、精密健診までの期間が短い、受診券交付事務の簡素化が望まれる、などであった。

なお、聴覚検査では精密健診票交付数127/20472(0.6%)、実際の受診者は46件であった。診断名は中耳炎、滲出性中耳炎が多かった。

調査成績

次ページ以下に表示する。

* 静岡県立こども病院眼科

[1]

静岡県三歳児視覚健診実施状況(1991.4.1-12.31)

保健所	受診者数	受診票交付数	眼科支払う数	異常者数
下田	828	2	2	経2
熱海	639	9	6	経4 検1
修善寺	431	6	5	0
沼津	3719	22	15	治2 検3 経3
御殿場	888	13	5	検2 経3
富士	1784	45	25	治3 検4 経10
富士宮	977	10	9	経4
清水	1874	33	21	経11 治2
藤枝	2194	21	10	経7
島田	1454	32	12	治3 検1 経3
掛川	1429	26	8	治1 経3
磐田	2038	32	16	治3 経3
天竜	1102	13	10	治2 検1 経6
浜名	699	7	3	検1 経2
三ヶ日	423	14	0	0
合計	20472	285	165	治18 検20 経64 治：要治療 検：要検査 経：経過観察

(1.4%)

異常者数の内訳

経過観察：

乱視13 近視8 遠視8 外斜視8 内斜視4 眼振1 外転不全2
偽斜視9 弱視1 内反症1 その他5

要検査：

近視性乱視3 近視4 遠視3 外斜視2 弱視疑い4 左下斜筋過動1
左外転障害1

要治療：

遠視性乱視4 遠視4 弱視4 外斜視2 内斜視2 眼瞼下垂1 霰粒腫1

[2]

静岡市中央および南保健所(1991.4.-1992.1)

3歳0カ月時の集団健診

受診者数 3558人 視力検査成功数2230人(62.7%)

受診票交付数 9

予算交付数 約30人 眼科単価：¥6850

[3]

浜松市保健所(1991,4.-12)

小児科医による個別健診 単価：¥3910

3歳6カ月時

2439人中2051人視力実施(84.1%) 成功率1945人(94.8%)

2次健診(眼科)に紹介数 34人

異常内訳：斜視15(治療中9) 遠視4 弱視2 乱視1

[4]

静岡県立こども病院眼科に紹介された三歳児健診精密検査結果
(1991,4.1-1992,1.31)

患児	診断名	紹介機関	患児	診断名	紹介機関
1.	不同視弱視(+6D)	御殿場保健所	11.	近視, 偽内斜視	下田荒木内科
2.	高度近視(-12D)	富士保健所	12.	下斜筋過動症	富士加藤眼科
3.	不同視弱視(+7D)	沼津斎藤眼科	13.	偽内斜視	沼津保健所
4.	偽内斜視	静岡南保健所	14.	内斜視	清水中村眼科
5.	偽内斜視	静岡南保健所	15.	不同視弱視(5歳姉)	沼津瀬尾眼科
6.	間歇性外斜視	静岡中央保健所	16.	高度近視(-15D)	修善寺保健所
7.	間歇性外斜視	蒲原総合病院	17.	軽度先天眼瞼下垂	藤枝保健所
8.	遠視性乱視	藤枝保健所	18.	調節性内斜視(+6D)	静岡南保健所
9.	高度遠視(+8.5D)	藤枝小川眼科	19.	調節性内斜視(+2D)	三島桑名眼科
10.	間歇性外斜視	富士敦賀眼科	20.	近視性乱視	静岡中央保健所

[5]

保健所眼科健診実施上の問題点

1. アンケート調査の家庭での実施率が悪い
2. 年齢が小さい為会場では検査出来ない
3. ランドルト環は3歳0カ月児にはやや難しい
4. 精密検査までの期間が1か月では少ない
5. 受診券交付事務の簡素化をしてほしい

[6]

聴覚検査関係

県管轄保健所耳鼻科交付数127/20472=0.6% 支払う46件

異常の内訳:

経過観察 浸出性中耳炎5 耳管狭窄症1 アレルギー性鼻炎1 中耳炎疑4

要検査 両感音難聴1

要治療 両耳管カタル1 耳管狭窄1 浸出性中耳炎4 両湿性中耳炎, アレルギー性副
鼻空炎1 言葉発達遅滞1

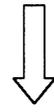
浜松市

耳鼻科2次健診 計18 : 中耳炎12(治療中8) 難聴1 他なし2 観察3



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約

3 歳児健診における視力検査等眼科健診が実施されるようになったが、静岡県における実施状況を調査して報告する。県下では各保健所とも健診現場への眼科医の派遣が困難であるため、アンケート及び家庭における視力検査の結果を保健所でチェックし、異常を疑う例に精密健診票を発行して眼科専門医の診察を受けさせる方式によっているが、1991 年 4 月から 12 月までの 3 歳児健診受診者 20472 名中精健票発行 285(1.4%)であった。県立こども病院に紹介された精密健診例は 0 例であり、最終診断名は表に示したごとく多岐にわたっていた。保健所における眼科健診実施上の問題点は、アンケート調査の家庭での実施率が悪い。年齢が小さいため会場では検査できない、ランドルト環は 3 歳 0 月ではやや難しい、精密健診までの期間が短い、受診券交付事務の簡素化が望まれる、などであった。なお、聴覚検査では精密健診票交付数 127/20472(0.6%)、実際の受診者は 46 件であった。診断名は中耳炎、滲出性中耳炎が多かった。